

Coming-of-Age ceremony 2009

平成 21 年成人者数
男：135 人 女：129 人 計：264 人
 ※名簿は広報紙への掲載を希望した人

平成 21 年

石崎 恭平
磯野 準
今坂 優子
入口 貴絵
入口 昌樹
岩崎 圭吾
海岸 隼人
大塚 直美
沖野 祐平
奥成 勇介
奥成 良介
蟹 浩子
紺谷 麻帆
坂 実揚子

◆**鶯川中学校**
 (アイウエオ順)
 一谷 梨穂
奥野 健裕
佐藤 泰弘
仙福 剛悠
高橋 小寿恵
竹下 実穂
田中 美穂
釣谷 真弓
天幸 佑介
濱野 麻衣子
道下 大樹
森 惇悠
森 達也
山下 泰斗

◆**松波中学校**
 浅山 直樹
池崎 泰志
池端 一朗
石谷 浩貴
今井 陽章
大下 亮晴
大松 龍之介
大谷内 夏希
大鷲 一翔
大形 克彦
表 翔太郎
川端 結香梨

◆**小木中学校**
 坂口 修一
下釜 正嗣
鈴野 広美
須摩 紗也加
竹中 里奈
釣谷 恵里
釣谷 裕
寅松 優
中町 峻
中谷 賢史
畑口 菜月
廣瀬 上総
廣瀬 涼
牧 唯菜
町端 美智子
谷内 竜也
山城 一哲
吉岡 加奈
四方 葵

◆**能都中学校**
 朝川 誠
安宅 望美
荒橋 美穂
飯田 理恵
石切 大樹
板谷 浩史
岩本 拓也
上田 雅之
上野 佳奈
上野 由布子
梅澤 武司
小浦 早織

◆**柳田中学校**
 秋本 かおる
池田 浩太
岩崎 麻夕香
宇小 和美
内平 早紀
北又 祐介
岨 菜生
紺谷 大樹
杉田 和彦
杉田 美香
大古 知恵美
瀧上 友香
竹内 祐有
竹尻 愛
武藤 拓也
谷田 美幸
刀祢 いづみ
橋爪 香織
林 ともよ
大古 裕規
平釜 瞳
正井 一平
政田 諒

◆**瑞穂中学校**
 泉原 詳吾
大屋 英子
吉坂 涉
木村 仁美
小杉 竜也
紺谷 仁志
坂口 寛典
高田 貴裕
中野 成仁
島中 歩美
向平 希
森下 友美
山岸 弘和

◆**能登町社会福祉協議会**
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼藤波・七見デイサービスセンターを(能登町社会福祉協議会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼布浦老人生きがいセンターを(能登町社会福祉協議会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼七見台潮騒体験農園を(能登町社会福祉協議会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼遠島山公園、能登海洋深層水施設ほか2施設を(能登町社会福祉協議会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼九十九湾園地管理事務所を(能登町観光協会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼能都共同福祉会館を(能登町商工会)
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼能登町特産物等直売所(桜峠直売所)をグループさくら日和
 ・公の施設の指定管理者の指定
 について▼能登町郷土館、歴史民俗資料館ほか3施設を(能登町社会福祉協議会、柳田体育館ほか1施設を育館、柳田体育館ほか1施設を)

◆**在住者**
 デイク プルノモ
ドワイ シスワンディ
ナナ トリヤナ
ムリアワン
ユギ グスリアンディ
レナル ジュリアン
任 翠玲
方 鳴

◆**認定された平成19年度決算**
 ・一般会計歳入歳出決算・有線放送事業特別会計歳入歳出決算・国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 大淵 由衣
大森 瑞生
大森 大世
大谷内 考詞
岡川 光
岡本 正樹
梶 大地
数馬 麻悠子
川 雅耶
川岸 亜由美
川端 宏盛
川畑 拓也
川本 真代
北畠 喜人
倉 綾香
小島 大地
酒屋 祥子
澤井 知美
下野 拓真
新崎 花華
関本 美緒
瀬戸 美帆
蛸島 宏章
寺下 聡一郎
寺下 祐樹
富田 章愛
中川 奈津美
長坂 健司
中島 美登里
夏畑 葵
野口 百香
橋本 千加子

◆**可決された議会議案**
 ・能登町議会会議規則の一部を改正する規則について▼全員協議会を正規の議会活動とする
 ◆**選挙(指名推薦)**
 ・能登町選挙管理委員及び補充員の選挙について▼選挙管理委員(4人) 國分雅史さん(49歳・宇出津新)、源佐美歌子さん(62歳・羽根)、濱野孝則さん(62歳・恋路)、桶屋政雄さん(68歳・石井)▼補充員(4人) 中谷喜代信さん(66歳・宇出津山分)、西郷壽代さん(64歳・真脇)、山城良平さん(66歳・小木)、松井英芳さん(60歳・上長尾)

◆**可決された議案**
 ・一般会計歳入歳出決算(第5号)
 ▼歳入歳出それぞれ1億2397万円を追加し予算総額を13億3303万1千円とする。
 ・有線放送事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・国民健康保険特別会計歳入歳出決算(第1号)・老人保健特別会計歳入歳出決算(第2号)・介護保険特別会計歳入歳出決算(第2号)・公共下水道事業特別会計歳入歳出決算(第2号)・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算(第2号)・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・水道事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・病院事業会計歳入歳出決算(第2号)
 ・能登町営住宅条例の一部を改正する条例について▼条例に暴力団排除の規定を設ける
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼能登七見健康福祉の郷「なごみ」を(能登町ふれあい公社)
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼笹ゆり荘、老人憩いの家たなぎ荘、小木生きがいデイサービスセンターほか2施設を(能登町ふれあい公社)
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼内浦スポーツ研修センター、藤波運動公園、能都体育館、柳田体育館ほか1施設を(能登町ふれあい公社)

【日 時】平成 21 年 1 月 11 日(日) 10:30 ~
 (受け付けは 10:00 から)
 【場 所】内浦第二体育館
 【対象者】昭和 63 年 4 月 2 日~平成元年 4 月 1 日生まれの能登町内中学校卒業生および能登町在住者
 ☆お願い
 新成人者へのお祝いの祝電や花束などは、式典会場では受け付けませんので、ご自宅へお届けください。

◆**議長・副議長が交代**
 新平悠紀夫議長、石岡安雄副議長が辞職し、新たに山崎元英議員が議長に、奥野清議員が副議長に当選しました。
 ◆**可決された議案**
 ・一般会計歳入歳出決算(第5号)
 ▼歳入歳出それぞれ1億2397万円を追加し予算総額を13億3303万1千円とする。
 ・有線放送事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・国民健康保険特別会計歳入歳出決算(第1号)・老人保健特別会計歳入歳出決算(第2号)・介護保険特別会計歳入歳出決算(第2号)・公共下水道事業特別会計歳入歳出決算(第2号)・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算(第2号)・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・水道事業特別会計歳入歳出決算(第1号)・病院事業会計歳入歳出決算(第2号)
 ・能登町営住宅条例の一部を改正する条例について▼条例に暴力団排除の規定を設ける
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼能登七見健康福祉の郷「なごみ」を(能登町ふれあい公社)
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼笹ゆり荘、老人憩いの家たなぎ荘、小木生きがいデイサービスセンターほか2施設を(能登町ふれあい公社)
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼内浦スポーツ研修センター、藤波運動公園、能都体育館、柳田体育館ほか1施設を(能登町ふれあい公社)
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼能登町特産物等直売所(桜峠直売所)をグループさくら日和
 ・公の施設の指定管理者の指定について▼能登町郷土館、歴史民俗資料館ほか3施設を(能登町社会福祉協議会、柳田体育館ほか1施設を育館、柳田体育館ほか1施設を)



◆**議長**
 山崎元英 (68歳・小木)
 ◆**副議長**
 奥野 清 (57歳・上町)



農林漁家民宿おcaaさん 100 選に選ばれた

多田寛子さん (宮地)

Tada Hiroko

民宿「春蘭の宿」を営む多田寛子さん。宮地が10月3日、第2回農林漁家民宿おcaaさん100選に選ばれた。これは農林水産省と国土交通省などが、3年間で1000人の農林漁家民宿おcaaさんを選定し、民宿の品質維持・向上や都市部へのイメージ戦略などに活用していくもので、2回目の発表となった今回は、多田さんをはじめ全国で28人が選ばれた。県内では、第1回目に選定された船下富美子さん、矢波さんに続く二人目の選定で、全国48人のうちの二人が、ここ能登町で頑張る民宿おcaaさんということになる。

「10年たつてようやく自分のペースでできるようになりました」と話す寛子さん。夫や宮地・鮭尾地区の有志7人が「春蘭の里実行委員会」を結成し、民宿「春蘭の宿」を始めたのが平成9年。「最初は時間に合わせて料理を出すことが大変でした」と振り返る。

販売員やホテルのフロント係など、もともと接客業の経験があった寛子さんは、民宿の特色を出していくため、夫と何度も話し合いを重ねたという。

「お客さまの気持ちを感じ取るまで毎日が大変で、夜遅くまで話し相手をしたこともありました。団らんを求める方、疲れを癒しにくる方など、お客さまの満足度とは何かを主人と考えることができました。『いろいろを囲んで女将と話ができるからまた来るよ』と言われることもあります。わたしの経験も役に立ったのかもしれないですね」とにっこり。

ガンドイバラのはしで食べる。このこだわりのもてなしにリゾートも多し。「北海道から沖繩まで、全国のお客さまからいろいろな話を聞くことも楽しみの一つ。お客さまと接することが、わたしのストレス解消法です」と民宿業の楽しさを語る。

もちろん食材にも徹底的にこだわっている。「野菜は主に自家製の有機無農薬野菜。魚はヤマメ、ゴリ、モロコなどの川魚をいろいろくし焼きにします。そして宿の名前でもある春蘭の花も使います。川魚は珍しいので喜ばれますね。お客さまからは特に『米がおいしい』『野菜ってこんなにうまかったんですね』とびびくりされます。最近になって、わたしの料理ではなくてここで採れる食材がおいしいのだと気づきました」と笑う。

春蘭の宿は、石川県のグリーンツーリズムの先駆けとしても有名だ。春蘭の里実行委員会は数年前から地域に呼びかけ、農家民宿の拡大を目指してきた。現在では20軒にまで拡大し、農家民宿の数では全国でも類を見ない規模になった。

「10年たつてようやく自分のペースでできるようになりました」と話す寛子さん。夫や宮地・鮭尾地区の有志7人が「春蘭の里実行委員会」を結成し、民宿「春蘭の宿」を始めたのが平成9年。「最初は時間に合わせて料理を出すことが大変でした」と振り返る。

「修学旅行を受け入れるために30軒の農家民宿を目標にしています」と話す寛子さん。現在は20軒の農家民宿が「おやじの会」と「おかみさんの会」を作り、それぞれ目標をもって勉強しているのだという。

「お客さまの気持ちを感じ取るまで毎日が大変で、夜遅くまで話し相手をしたこともありました。団らんを求める方、疲れを癒しにくる方など、お客さまの満足度とは何かを主人と考えることができました。『いろいろを囲んで女将と話ができるからまた来るよ』と言われることもあります。わたしの経験も役に立ったのかもしれないですね」とにっこり。

食の安心・安全が問われている現在だからこそ、春蘭の宿や農家民宿の地元産にこだわった食事に価値が生まれる。

「無農薬の野菜をたくさん食べて、身も心もゆったりと健康になってほしいですね」。寛子さんは今日も、笑顔でお客さまを迎えている。

「無農薬の野菜をたくさん食べて、身も心もゆったりと健康になってほしいですね」。寛子さんは今日も、笑顔でお客さまを迎えている。

能登の自然、食にふれて
身も心も健康になってほしい。



右_11月14・15日、寛子さんの選定を受けて「地方ミーティングin能登」が「こぶし」を主会場に開催された。全国から100選に選ばれたおcaaさんなど約60人が参加し、料理や地域活性化について勉強。

左_春蘭の宿ならではのケヤキのテーブルと輪島塗のおわん。ガンドイバラのはしは、お客さん専用で1本1本手作りする。

大相撲能登場所実行委員会AED贈呈
僕も使える自動体外式除細動器

「能登を元気にしたい」と大相撲を開催、大成功を納めた大相撲能登場所実行委員会が、万が一のときに役立ててほしいとAED（自動体外式除細動器）を松波・小木・柳田中学校にそれぞれ1台ずつ贈呈しました。

12月5日、各中学校で行われた贈呈式には、数馬嘉雄実行委員長ら関係者が出席し、生徒代表にAEDを手渡しました。このうち小木中学校では、能登消防署の救急救命士3人を講師に招きAED講習会も行われました。生徒たちは実際に操作してみたり、緊急時の的確な行動などを学んでいました。



けいれんを起こした心臓に電気ショックを与えます



受賞者と人権擁護委員で記念撮影

人権作文コンテスト表彰式
誰もが平等に心豊かな暮らしを

12月9日、全国中学生人権作文コンテストの県大会や地区審査会で入賞した生徒に対する表彰式と応募に協力した学校に対する感謝状贈呈式が能都庁舎で行われました。

〈石川県大会〉優秀賞：赤田菜由さん（柳田中1年）佳作：杉原麻美奈さん（鶴川中2年）〈輪島人権擁護委員協議会〉優秀賞：須磨翔太郎さん（柳田中3年）坂下菜那さん（小木中2年）中山加菜さん（小木中3年）〈全国人権擁護委員連合会長感謝状〉鶴川中学校〈県人権擁護委員連合会長感謝状〉小木中学校・柳田中学校

金沢星稜大学 地域体験型ゼミナール
地域の人々と交流し地域に学ぶ

「能登町を知る」「能登町の人々と交流する」「能登町の現在の課題を理解する」「どのように能登町の課題に関わることができるかを考える」をテーマに、金沢星稜大学現代マネジメント学科の1年生11人が、11月23日から1泊2日の日程で能登町に体験研修に訪れました。県漁協能都支所では競りを見学、能都北辰高校では魚の調理を体験しました。

金沢星稜大学では、地域社会の発展に貢献していく教育研究力の向上に努めており、地域と連携した継続的な体験学習の取り組みを目指しているということです。



能都北辰高校が養殖するマダイの料理に挑戦する学生たち



持木町長に答申書を手渡す橋本会長

宇出津駅跡地利活用計画答申
賑わいある町並みと新しい交流

平成19年8月に町の諮問を受け設置された宇出津駅跡地利活用検討委員会（橋本忠雄会長）が、12月1日に委員会での議論をまとめた答申書を、持木町長に手渡しました。

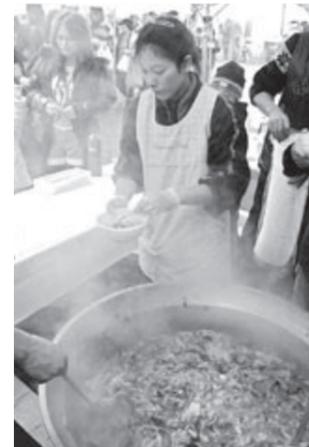
委員会では平成17年3月の「のと鉄道能登線」廃線以後、町の財政事情を考慮した予算で整備できる計画を基本として、駅跡地の利活用について検討してきました。「駅跡地は町の玄関口。町民が気軽に集い訪問者がアクセスしやすい広場になれば中心市街地としての賑わい創出と新たな交流の始まりが期待できる」として、今後の在り方について提言しました。

寒ぶりまつり 2008
魚の美味しい町づくりを発信！

▶午前と午後に行われたブリの解体・即売のほかにもアンコウの吊るし切りも披露されました。



▼無料で振る舞われたちゃんこ鍋には、長蛇の列ができていました。



「寒ぶりまつり 2008」が12月14日に開催され、会場となった宇出津商店街特設会場には約4,000人が訪れ賑わいをみせました。このイベントは能登の美味しい寒ぶりを存分に味わってもらおうと毎年行われているもので、当日は弥栄太鼓の迫力ある太鼓がオープニングを飾りました。

ブリの解体・即売では用意された約80本が、職人たちの鮮やかな包丁さばきによって次々に店頭に出され、飛ぶように売られていました。また新鮮な魚介類を使ったちゃんこ鍋が無料で振る舞われたほか、海産物や町の特産品を売るテナントもずらりと軒を並べ人気を呼んでいました。この日は肌寒い日となりましたが、子どもたちの元気あふれるよさこいや太鼓が会場に花を添えました。

バイオエコ燃料体験フェア
眠っている資源をエネルギーに

地球に優しいエネルギー作りに取り組むグループ「バイオエコ燃料能登」が11月29日、「バイオエコ燃料体験フェア」を開催しました。会場となった神和住の研究所には、町内外から50人が集まり、茅などを原料にした固形燃料ペレットの製造を実際に体験したり、ペレットストーブに関する説明を受けるなど、奥能登に眠る資源の有効利用について考えました。

基調講演では、先進地である愛媛県内子町や滋賀県近江八幡市から招かれた講師が、ペレット燃料が持つ無限の可能性や、環境を守りながら資源を活用する大切さなどを訴えました。



ペレットストーブの説明を聞く参加者



保存会員から熱心にごいたを教わる子どもたち

子どもごいた教室
宇出津発祥の伝統ボードゲーム

12月13日、こどもみらいセンターで小学生を対象とした「ごいた教室」が開催され、20人が参加しました。宇出津地区に伝わる伝承娯楽を子どもたちにも楽しんでもらおうと、能登ごいた保存会の会員6人が丁寧に指導しました。

教室では、初心者グループがゲームの始め方や基本の駒の出し方などを、経験者グループは戦術や駆け引きを伝授されるなど、それぞれごいたを楽しんでいました。初めてごいたを体験した宇出津小4年の山瀬健一君は「おもしろい楽しい。これからもやりたい」と話していました。